

おごせ 議会だより



3月定例会

- 不法占用訴訟準備開始 …P2
- 賛否表 ……………P5
- 施政方針と質問 ……………P6
- 町政を問う ……………P8
- クリーンセンター落成式 …P13
- 不法占用で苦しむ住民の声 …P14

2023.6 No.185

表紙の説明は13頁をご覧ください

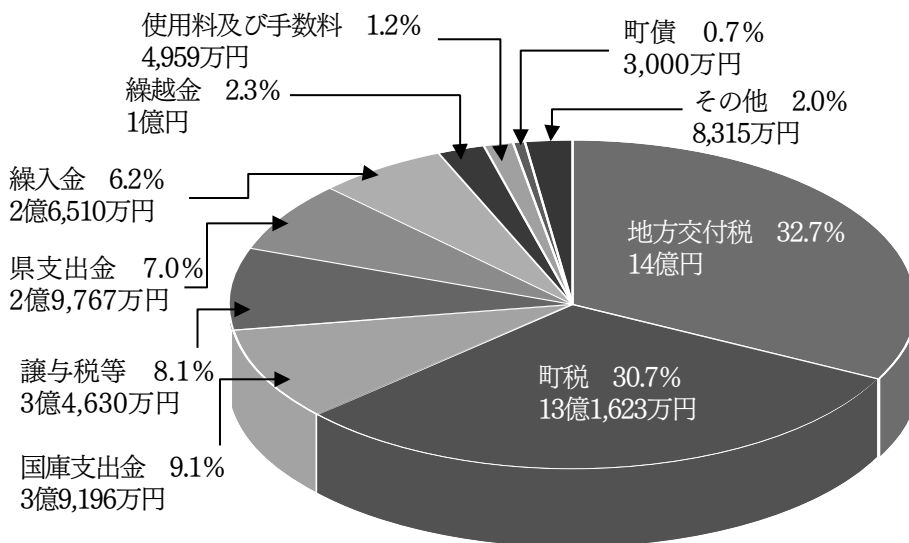
訟準備開始!!

3月定例会

歳入 42億8000万円

*前年比=600万円(0.1%)増

増額の主な要因・・・ゴルフ場利用税交付金
3000万円 → 4000万円



* その他は、分担金及び負担金、財産収入、寄付金、諸収入の合計額です。
* 譲与税等は、地方譲与税、地方消費税交付金等の合計額です。

令和5年度会計別予算額

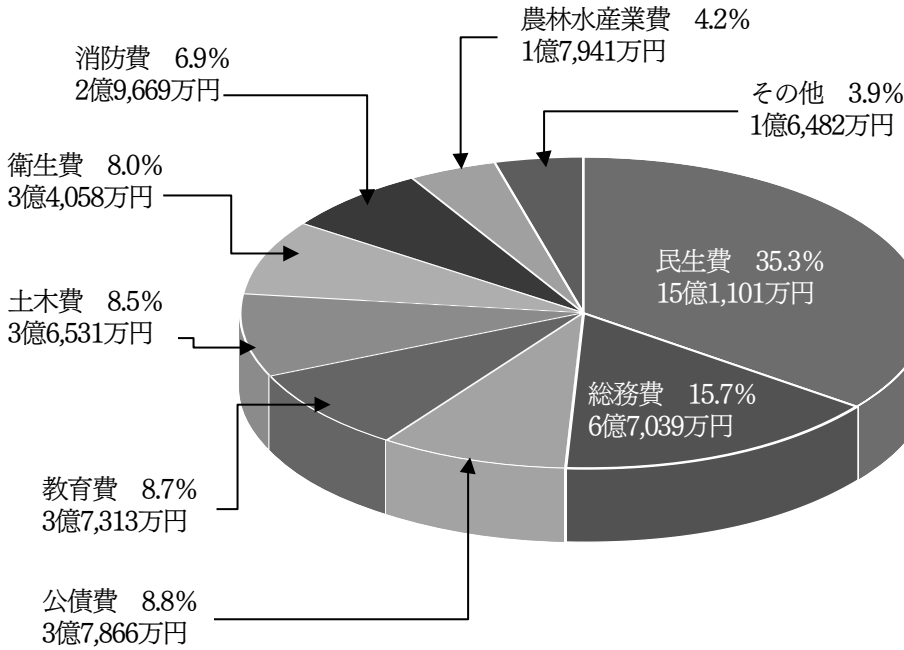
会計名	令和5年度	令和4年度	増減額	
一般会計	4,280,000千円	4,274,000千円	6,000千円	
特別会計	公平委員会	287千円	287千円	0千円
	農業集落排水事業	38,181千円	25,716千円	12,465千円
	国民健康保険	1,441,000千円	1,506,300千円	△65,300千円
	介護保険事業	1,275,318千円	1,234,436千円	40,882千円
	後期高齢者医療	191,370千円	180,050千円	11,320千円
	計	2,946,156千円	2,946,789千円	△633千円
水道事業会計	収益的収入	304,381千円	303,756千円	625千円
	収益的支出	304,221千円	293,696千円	10,525千円
	資本的収入	32,236千円	2,300千円	29,936千円
	資本的支出	103,501千円	88,569千円	14,932千円

* 水道事業会計において、資本的収入が資本的支出に対して不足する額 71,265 千円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんします。

令和5年第1回定例会は、3月1日から17日までの17日間の会期で開催されました。町長からの提出案件は、承認1件、条例改正5件、条例制定1件、指定管理者の指定3件、補正予算3件、新年度予算7件の計20件でした。また、議員発議により1件の新規条例が上程されました。予算審査は9日に総務建設常任委員会、10日に文教福祉常任委員会が開催され、審議結果を本会議に報告しました。慎重審議の結果、越生町印鑑条例の改正が否決となり、この他のすべての案件は承認・可決されました。また、一般質問には9名の議員が登壇し、町政に関する質問をしました。

橋戸川の不法占用訴

歳出 42億8000万円の内訳



* その他は、議会費、労働費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費の合計額です。

総務費「橋戸川の不法占用について訴訟による問題解決に向けた取り組み。」法律相談等費用（訴訟に係る弁護士委託料等）268万1千円。前年比較200万円増。

一般会計予算歳出の 主な内容

● 地域交通対策事業

(1600万6千円)

高齢者、交通弱者のタクシー、公共バス利用券継続

● 地域おこし協力隊推進事業

(1440万円)

地域おこし協力隊1名増員(2名↓3名)

● おごせブランド振興事業

(314万3千円)

伝統工芸品や特産品等の認証制度を創設し、産業を守り育てブランド化を図る。

● 町道維持管理事業

(5108万円)

劣化した舗装道路の改修

● 特定教育・保育施設等給付費事業

(1億6438万3千円)

子ども・子育て支援法に基づく新基準による管内・管外の保育施設及び新制度に移行した幼稚園等に対する運営費の補助。3歳児から5歳児、幼児教育無償化の実施に加え、町単独事業として第3子以降無償化を継続。

国保特別会計予算に反対討論

暮らし、福祉、教育、医療優先の国の財政運営を望む
高橋 一正

県の運営方針では、令和9年度以降は一般会計からの繰り入れもできなくなるとの見解を示し、国保財政の赤字の補てんには国によるペナルティーが科せられるとの事です。

しかし、「国民健康保険法第77条に基づく減免」に充てるための「法定外繰り入れ」は「赤字解消」には該当しない、とする見解で国保税の引き下げを行っている自治体もあります。越生町においても、高すぎる国保税の引き下げを実現させていきたいと思っております。

国は昨年から未就学児の均等割りの半額補助を実施しましたが、さらに、全国で国保税の均等割り無くすには1兆円あればできます。軍事費を増やすのでなく、国保税に投入してほしいと思っております。越生町も国保加入者の高齢化が進み、被保険者の減少、同時に保険税の収入も減少していきます。今回の国保の予算案では、町民の厳しさに追いつくものを掛けるものになっていることから反対しました。

専決処分の承認

令和4年度越生町一般会計補正予算(第7号)

既定の予算に、368万2千円を増額し、48億5238万5千円とする。
出産・子育て応援事業に係る費用。

賛成全員 承認

一般会計補正予算

令和4年度越生町一般会計補正予算(第8号)

既定の予算に、4202万6千円を追加し、48億9441万1千円とする。
事業額確定に伴う減額や基金への積み立て。

賛成全員 可決

特別会計補正予算

令和4年度越生町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

既定の予算に、50万円を追加し、15億2146万1千円とする。

賛成全員 可決

令和4年度越生町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

既定の予算に、36万1千円を減額し、1億7968万9

千円とする。

賛成全員 可決

条例の制定

越生町個人情報保護に関する法律施行条例

個人情報の保護に関する法律の改正により必要な事項を定めるもの。

賛成多数 可決

反対討論

「匿名加工情報」で本人同意を得ずに第三者提供も可能に

高橋 一正

いまある個人情報保護条例は、町が管理している住民の個人情報を開示提供する場合には、原則、本人の同意が必要で、この条例を廃止して、新たな条例を定めるよう町に求めてきました。

新たな個人情報の最大の目的は、「オープンデータ化」すなわち公開用データにすること(匿名加工情報制度)と情報連携(オンライン結合)を自治体に行わせることです。

「匿名加工情報」とは、特定の個人を識別できないように加工し、当該個人情報を復元できないようにした情報のこと

とで、「加工」されたことで、「非個人情報」つまり個人情報ではないとなる扱いです。

いまある個人情報保護法は、憲法が規定する基本的人権を守るために作られました。デジタル社会で便利になることは賛成ですが、今回の改定が町民の利益にはならないと考え、大きく目的を変えた新たな個人情報の保護条例には反対しました。

越生町議会の個人情報の保護に関する条例

提出者 水沢 努

賛成者 関根 真一

木村 好美

提案の趣旨

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、議会における個人情報については、法律の適用外となるが、議会においても引き続き個人情報の保護を継続する必要があることからこの条例案を提出する。

条例の概要

第1章 総則

第2章 個人情報の取扱い

第3章 個人情報ファイル

等

第4章 開示、訂正及び利用停止

第1節 開示

第2節 訂正

第3節 利用停止

第4節 審査請求

第5章 雑則

第6章 罰則

附則

施行日は令和5年4月1日。

賛成多数 可決

条例改正

越生町印鑑条例の改正

電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正による。

賛成少数 否決

4月臨時会

令和5年第1回臨時会が、4月26日に開催されました。
町長から提出された案件は、承認2件、条例改正1件、補正予算1件の計4件でした。
3月定例会で否決となった印鑑条例の改正について再度提出され、可決されました。

専決処分の承認

越生町税条例の改正

賛成全員 承認

越生町国民健康保険税条例の改正

賛成全員 承認

一般会計補正予算

令和5年度越生町一般会計補正予算(第1号)

既定の予算に、590万円を増額し、42億8590万円とする。

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(その他世帯分)。

賛成全員 可決

越生町印鑑条例の改正

賛成全員 可決

賛成討論

水沢 努

3月定例会で審議した議案の各議員賛否表

○は賛成、●は反対、退は退席、議は議長

議案番号	議案名	議 員 氏 名										審議結果	
		岩田 眞一	長根 弘倫	島野美佳子	高橋 一正	関根 眞一	池田かつ子	金子 公司	宮崎さよ子	木村 好美	水沢 努		宮島サイ子
承認 1	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度越生町一般会計補正予算（第7号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
1	越生町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
2	越生町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
3	越生町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
4	越生町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
5	越生町個人情報保護に関する法律施行条例	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	議	可決
6	越生自然休養村センターの指定管理者の指定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
7	越生町インフォメーションセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
8	五大尊花木公園の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
9	令和4年度越生町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
10	令和4年度越生町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
11	令和4年度越生町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
12	令和5年度越生町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
13	令和5年度越生町、毛呂山町外4組合公平委員会特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
14	令和5年度越生町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
15	令和5年度越生町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	議	可決
16	令和5年度越生町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
17	令和5年度越生町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
18	令和5年度越生町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
19	越生町印鑑条例の一部を改正する条例	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	議	否決
発議 1	越生町議会の個人情報保護に関する条例	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	議	可決

4月臨時会で審議した議案の各議員賛否表

○は賛成、●は反対、退は退席、議は議長

議案番号	議案名	議 員 氏 名										審議結果	
		岩田 眞一	長根 弘倫	島野美佳子	高橋 一正	関根 眞一	池田かつ子	金子 公司	宮崎さよ子	木村 好美	水沢 努		宮島サイ子
承認 2	専決処分の承認を求めることについて（越生町税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
承認 3	専決処分の承認を求めることについて（越生町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
20	越生町印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
21	令和5年度越生町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決

施政方針を問う

施政方針6つの柱

誰もが安心して住める
越生町を創ります

毛呂山町、ときがわ町、東秩父村とともに3町1村が協議会を組織し、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「山並み連携ゼロカーボンシティ共同宣言」を昨年12月に表明しました。町の資源である森林の整備を行い、まずは、身近に取り組める、節電や節水、ごみの分別やリサイクル等を更に推進し、二酸化炭素の削減を図り地球温暖化対策に寄与していきます。

生活関連では、劣化した町道の舗装改修に力を注ぎ、河川に堆積した土砂浚渫予算を新たに計上しました。また、長年の懸案である橋戸川の不法占用についても訴訟による問題解決に向け取り組んでいます。

防災重点農業用ため池については、国庫補助金を活用した個別実施計画の策定を計画的に進めてまいります。

お年寄り、障がい者の
生活を守ります

障がい者の日常生活用具の助成として、喉頭摘出者に新たに埋込型用人工鼻を給付品目に加え、予防接種の助成に、带状疱疹予防接種を加えます。保健センターで実施の特定健康診査及び後期高齢者の健康診査を梅園コミュニティ館でも実施します。

タクシー・バス利用券は助成を継続し、商工会、社会福祉協議会と連携しながら高齢者の暮らしの安心を図ります。

町民目線の役場改革を
行います

行政のDX化を推進し町民の利便性向上のため、マイナンバーカードの取得率向上に努め、住民票等のコンビニ交付10円を継続します。また、国が令和7年度までに実施を予定するシステムの標準化に向け準備を進めます。職員の窓口対応等は、町民目線に立ち、より丁寧な対応を心掛けます。

女性・若者の活躍を
応援します

町独自の出生祝金制度を継続します。また、不妊治療についても、町独自の助成を継続します。更に、多子世帯の住宅取得に支援を行い、引き続き少子化対策、子育て支援に力を注ぎます。女性・若者まちづくり会議の声をまとめた意見書は、町の貴重な財産として事業化に向けた検討を重ねています。

教育重視・未来に向けた人材を育成します

学校教育において、町費学習支援員等の配置や町独自の少人数学級編成を活かし、きめ細やかな指導を展開します。また、外国語指導助手による指導のほか、外国の学校とオンラインによる相互交流を図るなど、国際化に対応した教育を目指します。

産業振興と観光の町を
発信します

特産果樹や伝統産業などを町の独自ブランドとして認定し、地場産業の振興や町のPRに繋がります。また、商工会と連携し創業支援の取組を行い、起業に対する補助金を設け、賑わい創出や地域活性化に取り組めます。

施政方針に対する質問

3月2日 議員 4名が登壇

山並み連携ゼロカーボンシティ協議会

関根 真一

脱炭素社会の実現に向けての取り組みが示された。

これは、次世代にどんな地球を残すのか。本町もこれを明確にしたのだが、過去と大きく違う点は、単独行政の活動ではなく3町1村の取り組みだ。行政連携活動は非常に難しいと考えるが、問題は、この先28年に及ぶ長期施策であり、頓挫は許されない状態に置かれている。

町長は連携協議会会長に選出されており、直近の方向性はもちろん、10年毎のラフ案でも方向性を示さないと、成果が期待できない気がする。

問 失敗しないために、現段階で、どんな施策を考えているか。

答 考えていることは「環境学習」だ。エコの実施だけにとらわれず、現状を理解するための学習は欠くことができず、学習に時間を費やしても遠回りとは考えず、成功裏に導いていく。

移住・定住の提案を活かし
一歩踏み込んだ施策に期待

高橋 一正

問 「山並み連携ゼロカーボンシティ共同宣言」の更なる発展について。

答 山並み連携をさらに発展させ、森林の重要性の再認識、県との情報交換の場を設置。

問 女性・若者まちづくり会議における意見書の中の、事業化に向けた検討とは何か。

答 移住・定住に関する提案が2つのグループからあった。詳細はこれからだが、お試し住宅の設置などを進めていく。

問 店舗の開店など起業に対する補助金とは。

答 新規事業者に対し、上限50万円を補助。詳細はこれから。空き店舗の改装も対象に。

問 地域おこし協力隊を増員して何を期待するか。

答 森林資源活用事業は危険を伴う作業であり、複数人の体制が望ましい。現在の隊員と連携し、技術を学び、受け継いでほしい。

へ次頁につづきます

特産果樹担い手の育成は
ゼロカーボンへの道は

島野美佳子

問 梅剪定講習会の対象者は、梅生産農家のご家族、梅栽培に興味のある方、援農ボランティア、梅の新規就農を目指す方など。即戦力となる方を養成していきたい。

答 ゼロカーボンシティの実現に向けた具体的な動きは、

問 構成する3町1村の担当課長で集まる幹事会で、将来に向けたアクティブな意見交換を行った。ロゴマークのバッチを作成し、庁舎内に「シックステイ・カーボンニュートラルオフィスinおごせ」を設置した。カーボン（炭素）は原子番号「6」の元素であることから、「毎月6日は環境のことを考えながら生活する日」とし、二酸化炭素の排出を減らすための実行日として2月から実施している。2月のターゲットは「節電」で、衣類により体温を調整し、いつもと変わらない作業量を確認できるスタイルをつかもうと試みた。

お年寄りの生活を守る施策の実現を

池田かつ子

問 梅コミ館で実施予定の後期高齢者の特定健診の対象人数と受診方法は。

答 定員を60名程度とし、各種検診の実施まで全てを委託し、梅コミ館内と駐車場を使用して実施する。

問 令和4年度の後期高齢者の特定健診受診者の実績は。

答 1月末時点で170名であり、受診率は8・18%。

問 受診率の目標は。

答 越生町の目標は25%。

問 受診者は高齢である。受診してよかったと言われる受診の用意は。

答 様々な情報の発信、懇切丁寧な対応、会場内の段差や動線等に配慮し、安心して受診できるよう努め、健診後のサポートに注力していく。

問 高齢者や一般住民ともに移動手段に支障をきたしている。足の確保についての構想は。

答 現在の交通対策事業は、越生町に最も適した方法と捉えている。当面は現行制度を継続していく。

意見交換会と懇親会

2月3日、広く住民の声を聞くことの一環として、以前から計画していた意見交換会と懇親会を開催しました。長引くコロナ禍に阻まれてきましたが、この度ようやく実現しました。今回は商工会青年部から10名、町議会議員11名で行いました。

青年部からの「そもそも議会とは」との質問に始まり、議会の役割や、全国的にも課題となっているなりて不足を念頭に、議員の仕事や報酬について説明しました。後半の懇親会では、まちづくりや仕事、暮らしのことなど、より踏み込んだ話ができました。今後も各種団体のみなさんと交流していきたいと考えています。



商工会青年部のみなさんと

健康寿命を延ばそう パークゴルフ場オープン グセレモニー開催される

3月22日、越生町パークゴルフ場にて、4月1日からの本格オープンに先立ち、セレモニーが開かれました。

当日は、来賓として、新井康之町長、宮島サイ子議長、利根川常彦体育協会会長、高橋順二東2区区長が参加しました。

経過報告に立った原口仁教育長からは、県下8番目のパークゴルフ場であり、18ホールそして100mを有するコースもあつて、十分に楽しめるものになっていることや、草刈りなど地域の協力もあつて、維持されてきたとの感謝の言葉がありました。

新井町長による始球式、ナイスショットでセレモニーを締めくくりました。



オープニングセレモニー

長年お疲れさまでした

議長車が3月をもって退任しました。平成8年登録の車両ですが、大きな故障もなく長年公務を支えてくれました。長い間ありがとうございました。次のオーナーのもとでも活躍してくれることと思います。

議長専用車の退任は、厳しい財政状況に寄与するともに、町の目指す「ゼロカーボンシティ」への議会としての賛意の表明であります。

令和5年度からの公務では、他の庁用車を共用させていただきます。



退任となる議長車



町政を問う！

☆全質問事項は下記のとおりです☆

◆質問議員と質問事項◆

1 水沢 努

- ① 各行政区における将来人口推計とその対策は
- ② 平物産問題へのその後の進展は
- ③ 地域おこし協力隊のゼロカーボンシティ・キャンペーンへの起用はどうなったのか

2 木村 好美

- ① 国の制度活用し民間の力で越生町活性化を目指せ
- ② 越生町女性・若者町づくり会議の意見書をどのようにいかすのか

3 高橋 一正

- ① マイナンバーカードの取得と地方交付税の問題について
- ② 新年度に向けた子育て、福祉、交通、高齢者等に寄り添った施策について

4 長根 弘倫

- ① 越生町の観光及び、ハイキングについて
- ② 越生町の活性化について

5 島野 美佳子

- ① 里山の風景を残すには
- ② 楽しく学校に通っていますか
- ③ 地域おこし協力隊の状況は

6 金子 公司

- ① 学校給食の無償化は

7 池田 かつ子

- ① 学期制の今後について問う
- ② 子ども議会の再開と主権者教育

8 岩田 眞一

- ① 町の防犯について
- ② 町のDX推進

9 関根 眞一

- ① 越生特産物加工研究所の返済が始まる
- ② 山並み連携ゼロカーボンシティ協議会の今後の具体的な展開は
- ③ 県指定文化財は、越生町にあってこそ、観光資源の目玉となる



記載した本文は、質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿をそのまま掲載しています。
(別掲の議員名を付した文章も、すべて同様の扱いです)
全文は、図書館等に置いてある会議録か、インターネット(越生町ホームページ内「会議録検索システム」)で閲覧することが出来ます。

一口メモ

一般質問の人数制限はありません。一問一答方式で、一人あたりの質問時間は60分以内です。質問を行う議員は、事前に議長あてに「こんな質問をします」という通告を行います。

平物産問題は勝利の日まで 追及し続けます

水沢 努



問 平物産問題は40年間不透明なままで放置されてきた。透明性を確保して取り組んでいくことが重要だ。取り組みの現状を明らかにしてもらいたい。特に地元である古池地区の住民にはしっかりと報告してほしい。

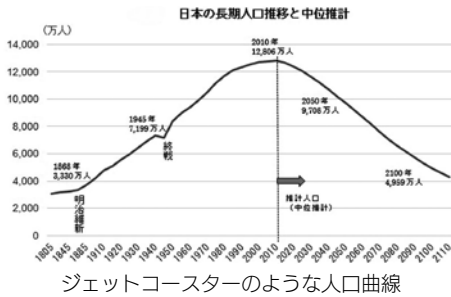
答 庁内に設置した「平物産株式会社河川不法占用等対策本部」では、令和4年12月27日から本部長を町長とし、対策の強化を図った。また1月19日には町長、副町長、まちづくり整備課課長、担当3名において、弁護士事務所へ訪問し、打ち合わせを行った。報告が可能となったら随時報告する。

くる。人口減少を前提にしたまちづくりが必要だ。行政区の機能不全だけは避けなくてはならない。いずれ行政区の合併や統合が不可避であると考えないか。

答 行政サービスの持続性の確保が重要な課題であると認識している。現状においても、一部の区からは、地域内の草刈りなどが実施できなくなるなどの相談を受け、公共性の高い場所に限り作業を行っている。

く、地域のつながりや住民感情なども複雑に影響するものと考えられる。町が一方的に一定の基準などを設け、推奨していくことは難しい。

近い将来、人口減少による行政区の合併や統合を検討しなければならぬ時が訪れることは、明らかであると考えている。しかしながら、区の合併や統合については、単純に人口や世帯数だけでなく、



ジェットコースターのような人口曲線

女性・若者会議の意見の実現や 国の制度活用で町の活性化を

木村 好美



問 国の補助制度は沢山あるが、地域活性化企業人制度、地域プロジェクトマネージャー制度、デジタル田園都市国家構想推進交付金制度を活用し、企業の人脈やノウハウを活かしながらの地域活性化は効果的。このような制度を利用し効率的に町発展を目指すか。多くの越生町民は色々考えているが、企業とのコラボについて町の見解は。

答 地域活性化企業人制度については、総務省の一覧には載せていないが企業人を探している。受入自治体と派遣元企業とのマッチングが課題。地域プロジェクトマネージャーは難しい。デジタル田園都市国家構想推進交付金については、書か

ない窓口システム、デジタルスタンプラリー、RPAなどを検討しているが、導入までに至らない。

答 タクシー券等の申請の際に、アンケートで声を聞く。相乗りAIデマンド交通の場合、ランニングコストがかかる。目的の地まで時間がかかる。大きな政策転換を伴うもので、今のタクシー券、バス券との継続は困難。

問 女性・若者町づくり会議の声を聞き、予算化したものは。また、予算化しなくても即、取り組む予定のものはあるのか。この意見書やアイデア集はとても大切だ。更に、発信力の強化としてLINE情報導入は。

答 令和5年度の当初予算には間に合わなかった。移住、定住に関連する提案が2グループより報告されており、「お試し住宅の設置」に向け交渉中。意見書の内容を実現するために取り組んでいる。



出来るところから実現を

健康保険証の廃止は言語道断 地方交付税本来の目的に戻れ

高橋 一正



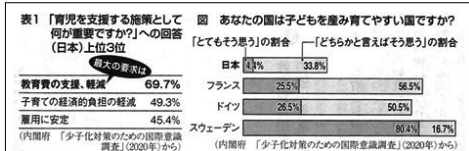
越生町の観光やハイキング 町の活性化について

長根 弘倫



問 岸田政権は、目玉政策の一つに「デジタル改革」を掲げている。なかでもマイナンバーカードを「デジタル社会のパスポート」と位置づけ2万円分のポイント付与や健康保険証の廃止を打ち出すなど、なりふり構わぬ強引な手法による制度の普及をはかっている。町のカード申請件数は、**答** 2月12日現在、8536件、率は75・9%。**問** マイナカードを持たない人はどう扱われるか。**答** 健康保険証の代わりに「資格確認書」を発行。**問** マイナカードの取得率によって地方交付税の交付金額が変わるのか。**答** マイナカード利活用特別分を創設し500億円を増額する。そして、

交付率上位3分の1以上の市町村には割増しで交付するとあるが、具体的な数値はこれから。**問** 国は、5年間で43兆円もの軍事費を計上しているが、そんなお金を競争準備に使いつまむのではなく、次代のために暮らしや福祉のために使ってほしいと思う。まずは、学校給食費補助について質す。現在第3子以降半額補助を実施しているが、新年度何人で何円を見込んでいるか。**答** 35人分、84万円。**問** せめて第3子以降を全額補助にする考えは。**答** 先ずは物価高騰に対する食材費助成をして行く。今後推移を見ていく。**問** 国は未就学児において、国保税均等割の半額補助をはじめた。新年度何人で何円を見込んだか。**答** 27人40万8千円。**問** あと半額を補助する考えは。**答** 県内市町村の保険税統一を踏まえると難しい。**問** 補聴器購入補助について検討されたか。**答** 高齢者の実態把握、予防啓発からすすめる。



議会と自治体第300号(2023.4)より

問 ハイキングコースの山道を塞ぐ倒木や、土砂崩れなど、歩きにくい箇所等を把握しているか。**答** 数多くあるコースの現状を全て把握する事は、非常に困難です。ハイカー等からの情報は、非常に有益であり、倒木等の情報をいただいた際には、早急に対応致します。**問** コース上に展望台や見晴台等があるが、雑草や雑木で展望の出来ない箇所等ある。整備出来るか。**答** 今年度は、西山高取、野末張展望台周辺等の間伐、下草刈りを行い、今後についても計画的に整備をいたします。**問** 以前コースの山道を、オフロードバイク等で走行した形跡があったが、その後この様な事例はなかつたか。**答** 西山高取山道入口と龍ヶ谷地内に、木杭とロープで柵を設置しました。その後、同様な通報は受けておらず一定の効果があったものと思われれます。**問** 長いコースを歩く際には、トイレが必要ではないか。**答** 区間が長くなる場合は、仮設トイレを設置するなど、対応を図っています。**問** 梅の里ちびっ子駅伝大会で、農村広場のトイレに、トイレレットペーパーがなかったがどうしてか。**答** 今後、このような事が起きないように、管理している全てのトイレに連絡先を明記し張り紙をします。



伐採後、すっきり見える「幕岩展望台」

問 「地域おこし協力隊」の実績は。**答** 女性隊員に関しては得意とする、デザインスキルを活かして活動、もう1名は森林環境の整備を行っています。**問** 隊員の募集や増員は、どのように行っていますか。**答** 募集は、主にホームページで行い、他地域から、越生町に繋がりを持つ方等の、募集が有効と感じます。増員に関しては、5年度は1名、以降は、徐々に増員します。

梅ゆずの里をつなぐには
子どもに寄り添う町に

島野美佳子



問 高齢化や少子化に伴い定年は延長され、地域活動や定年後の帰農に影響が出てくると考える。特産果樹生産の担い手不足解消について方策は。

答 梅の生産量維持のため、収穫の簡素化を目的に収穫ネットの実用化に向けた調査研究や、うめ担い手育成塾を実施してきた。また、柚子かきよう性虎斑症に強い木の選抜調査を実施、選ばれた柚子の木から令和5年度に苗木を育成。この柚子を広めていきたい。

問 将来について、生産農家への意向調査は。

答 梅についてはこれまで、新植や改植、木の本数や収穫量、新規就農者への貸付希望などをお聞きした。柚子について

も今後、各種調査を行っていききたい。

問 生産を維持するためにおこし協力隊の制度を利用して、集落営農組織や地域おこし協力隊の制度を利用する方法もあるのでは。

答 町は新規就農の斡旋などに、これまでになく力を入れていく。令和5年度にまた新たに梅の生産をやってみようという方もいるので、まずはそれを軌道にのせたい。

問 中学校の「学校教育に関する評価」で、「楽しく学校に通っている」の設問に、中2の保護者のうち14・3%が「あまりそう思わない」との回答だった。アンケート結果はどう活かされるのか。

答 報告義務があり、結果を公表した。校内研修等で改善していく。

問 庁舎内に子どもも相談できる部屋ができたことを高く評価する。広報とHPでは子どもに情報が届きにくいのが、どのように周知していくのか。

答 家庭ではない場所でも子どもに寄り添って、話が聞ける大人がいることが大切。子ども家庭総合支援拠点の周知は、SNSや学校を通じてなど、検討していきたい。

問 給食メニュー決定から食材発注・納品までの流れはどうなっていますか。

答 献立は、栄養教諭が、半年以上前から3ヶ月くらい前までに構想を考えて作り、最終的に2ヶ月前までに決定します。その後、献立に使用する食材の食物アレルギーの有無や、価格、納品形態の確認を行い、献立実施月の前月はじめから20日くらい前までに、業者さんへ注文書の送付、調理員さんへ調理方法を伝えるための調理指示書や、保護者へ配布する献立表の作成を行います。注文した食材のうち、乾物や冷凍食品などは、献立実施日の前日まで、野菜、肉、豆腐などは、当日納品さ

学校給食の無償化は

金子 公司



れます。すべての食材について、栄養教諭と調理員さんが、検収簿による検品を行っています。

問 地元農協から安定供給可能な野菜や米の調達を行うことはできないでしょうか。

答 学校給食で使用する米は、公益法人埼玉県学校給食会を通じて、越生産及び、いるま野産の「彩のきずな」を仕入れていきます。野菜につきましても、農産物を納入する業者へは、可能な限り地場産の農産物を納品するよう依頼しています。

問 子育て世代の移住促進に繋がる、越生町での小・中学校の給食無償化を実現するよう検討しているかと思いますが、いかがでしょうか。

答 現在コロナ禍での負担軽減の取り組みを行っていることや、令和5年度には物価高騰に対するための助成を予定していることから、当面は推移をみてまいりたいと考えています。越生町として子育て世代にとって魅力ある取り組みについてどのような施策が可能であるか、研究を重ねてまいりたいと存じます。

祝第17回 全国学校給食甲子園 準優勝

祝第12回 全国学校給食甲子園 優勝



里山の風景を残したい



全国学校給食甲子園

2学期制継続検証委員会の議論は尽くされたか

池田かつ子



問 2学期制を検証するため多くのの方々の意見を聞くアンケートを実施するか否か、その結論を会議の中では出さず、実施しないと決定した経緯は。

答 会議の中で見送るという意見が大半を占めたこと認識し事務局としてアンケートを見送るとした。

問 会議の初回資料で「2学期制の成果」に「平均より上、もしくは県内トップレベルの状態」という文章があった。2回目の資料では、「県の学力状況調査では、概ね児童生徒の学力の伸び率が県平均を上回っている」と変更していた。その訂正と補足説明はあったか。

答 この表現について会議の中で指摘があったので、資料の文言を変更し

たと記憶している。

問 今後、2学期制を継続するのであれば、学力の成果を漠然とした表示ではなく、根拠を持つ

て正しく、きちんと示す必要があると考える。それについての考えは。

答 今後は学力についての考え方をしっかりと精査し、表現していく必要があると考える。

問 今後、学力についての議論をどのような形で行っていくか。

答 学力向上委員会、学校運営協議会等で議論し、深められるとよい。

問 子どもたちのため、よりよい教育環境を整えるには2学期制の成果、実態の検証が必要である。今回実施されなかったアンケートの実施と、この

先の検証委員会開催についての考えは。

答 今回回答したこと終了となるので開催の予定はない。

問 子どもも議会の再開に当たっての考えは。

答 令和5年度は対応方法を十分検討した上で、できる限り今までの形態を継続できるように再開に向けて準備を進めていく。



学校に向かう子どもたち

町の防犯について町のDX推進

岩田 眞一



問 町の防犯について

①防犯カメラ、道路・学校などを除く設置数は。

②大きな事件が近隣市町村であり、防犯カメラは有効。防犯カメラの増設は。

③暗い坂道等に、防犯カメラの設置は。

④パパス交差点も事故が多く監視は。

⑤中学校の帰り時に注意・協力の放送は。

⑥街灯のないところにLED設置は。

⑦駅防犯パトロールのボランティア、今後は。

⑧埼玉県の防犯補助の活用は。

答 ①役場ほか17台。②から④はまとめて回答。

近年は犯罪が凶悪化し、地域の安全・安心のため有効で大変重要である。

財政的に設置・維持管理にコストがかかる。公園などはプライバシーなど

課題があるため総合的に判断、住民の要望を伺って対応したい。

⑤下校時放送は効果が薄い。

⑥防犯灯1897基LED化、区からの要望により設置する。

⑦パトロール隊は57名のボランティア、コロナにより本年3月末まで中止、4月に隊長と検討し、再開したい。

⑧県補助金、防犯カメラは実績なし。

問 町のDX推進

①DXはデジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革すること、国や県の具体的な計画、町の構想は。

②急速な人口減・少子化・高齢化、コロナ対策・大規模災害などに対するデジタル化の動きは。

③行政手続きオンライン

化、具体的に何を。④高齢者対策として何かあった時の通報システムは。

⑤県の事業ではない町DXの独自性は。

答 ①令和4年、行政手続きのオンライン化、令和7年には住民記録システム。②多額のコストになる。③2月からオンラインによる転出届。④緊急通報システムにより電話機に取付けて声だけで外部センターに連絡できる。⑤町で進めたいが人材確保も難しい。

(町の防犯に有効です)



特産物加工研究所の今後 山並み連携文化財は観光資源

関根 真一

問 町が特産物加工研究所へ融資した返済開始の6月が迫っているが、経営状況はどうか。

答 特産物加工研究所の総会は3月末で、途中経過だが、営業利益は前年より増額になる。現在、ゆず・梅果汁に対し商談もありまとめたい。保有現金をみる限り、返済は十分履行できる。

問 山並み連携ゼロカーボンシティの取り組みを2050年まで、継続推進するためには、何がポイントとなるか。

答 3町1村は、一団の森林による山並み連携であり、地球の温暖化防止活動を強い絆で行うために協議会とした。

この活動にあたっては、生活の中にも数多くある

取り組みを、住民自らを取り組むことであり、高齢者は過去の生活経験で自然に行っている行動が多々ある。協議会のメリットは、それぞれの行政の知恵が生かされることと、活動の詳細を「広報」やホームページを通じて連載をすること、継続強化を図る。

問 起案は、ゼロカーボンシティの取り組みに取り残された集団だが、追隨して形にしたかったことが協議会となった。

答 文化財は観光資源として町の活性につながると思うがどう考えるか。

答 国の文化財保護法が改正され、従来の保護優先から、保護と活用の両立が国から指示された。また、文化財はその土地

にあつてこそ、存在意義がある。観光立町を目指す町にとって有効である。資金面では、文化財以外の補助事業制度について、調査研究を進めて行く。

問 黒山地区の文化財、薬師如来も、区に貴課と観光協会から、還元の仕事掛けをお願いする。

答 観光振興でハイキングの町としての活性化を目指す。



不動明王像(五大尊)

山並み連携のバッジ

令和5年
2月19日

埼玉西部クリーンセンター落成式開催

発注
決定

応募 714 件中、命名は 深田 愛さん
(当時越生小5年生)

「クリーンセンターはとやま」
おめでとうございます



施設は大切に、ごみ分別は慎重に
2021年10月、川角リサイクルプラザでリチウムイオン電池等が、原因であると考えられる火災が発生。その際の設備交換費用は2億円でした。
住民各位、
ご注意ください、
お願いします。



鶴ヶ島市、毛呂山町、鳩山町、越生町の小学生から714件の応募があり、深田愛さんの作品「クリーンセンターはとやま」が選ばれました。

半世紀にわたり苦しんだ 住民の声を町民に届けたい

平物産による河川の不法占有問題でテレビに登場し、一躍時の人となった柿沼静雄さん。猟友会として最前線で越生町を獣害から守っています。併せて聞きました。

町と議会に期待します

★どうしてマスコミに

昨年7月の大雨による兄の会社の水没が決定的でした。2千万円もの被害を受け、周辺の住民も床上浸水になると



活動中の越生猟友会越生支部の皆さん

ころでした。気候変動の時代、このままでいったら命が危ない。これは個人の問題ではありません。古池地区の住民は半世紀近くにわたって、平物産の違法占拠に悩まされてきたのです。多くの住民が被害に遭い、声を上げたのですが、町は何の対策もとってくれず、泣き寝入りを繰り返してきました。そうした住民の積年の苦しみや怒りを、町や町民の皆さんに知ってほしかった。

そのためマスコミに連絡を取りました。これを機に、町は不法な占拠を終わらせてほしいですね。

★火事の恐怖も相当なもの

平成15年の火事では延焼して民家が全焼、住民が危うく焼け死ぬところでした。その前にも大火事があり、県道が大渋滞したこともあり、県道が要塞のように壁が覆う建物は、内部の様子が全く分かりませ



越生猟友会
越生支部
柿沼 静雄さん

ん。時々煙が上がったりしています。焼却炉があるとうわさもあります。強風の時など、住民はビクビクしています。山火事にでもなったらそれこそ大惨事です。

★猟友会で活躍していますね

昭和49年からです。当時は多くの会員がいました。山も手入れされ、獣は簡単には出て来れませんでした。でも最近の山は手入れされず、耕作放棄地も増えています。そのうえ害獣を駆除する猟友会の会員数も減り、高齢化しています。かつては人間の生活圏だった所が、今では獣たちの生息地へと変わってしまった。私たち猟友会は毎日、早朝、山に入り箱罠やくくり罠の見回りを行っています。越生町の人々の農地が獣によって荒らされたり、生活が脅かされることを黙って見過ごすわけにはいきませんからね。

議会を傍聴 しませんか

町議会には、年4回（3月、6月、9月、12月）開かれる「定例会」と、必要がある時に開かれる「臨時会」があります。どちらも一般公開され、傍聴することができます。

議会議員が、議会での様々な活動をしているかを直接見たり、聞いたりすることができ、町の動きを知ることが出来ます。議会の開催情報などはホームページに掲載しております。「越生町議会」で検索してください



議会傍聴者数

本会議	傍聴人数
3月1日(水)	4
3月2日(木)	1
3月3日(金)	2
3月6日(月)	18
3月7日(火)	15
3月17日(金)	0
合計	40

4月26日の臨時会は 0人

編集後記

新型コロナウイルスに対する規制もやっとな緩和され、更に5月8日には2類から5類に移行となります。3月に行われたWBCでは、侍ジャパンが勝つた。超満員の球場や、テレビ観戦で、大きな歓声を上げていました。一方、電車やスーパーでは殆どの人が、マスクをしています。着用は自己責任とはいえ、国民性が表れていると思います。

議会では、この3年間、傍聴人数を、制限せざるを得ませんでした。3月議会より傍聴者の入場数を10人から20人とし、多くの町民が傍聴できるようにになりました。

(長根弘倫 記)

委員長
副委員長
委員

アドバイザー
議長

- 水沢 努
- 木村 好美
- 金子 公司
- 池田かつ子
- 関根 真一
- 高橋 一正
- 島野美佳子
- 長根 弘倫
- 岩田 真一
- 宮島サイ子

